

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	293600024
事業所名	グループホームあじさい「ほてい」

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	自治会に加入しており、地域の清掃や盆踊りに参加している。また、自治会よりアポイントがあり、管理者は会合に出席している。散歩の時には地域の方と挨拶を交わし、近所の方から野菜や花を頂くこともある。ホーム内の行事には、近所の方に呼びかけたが、平日ということもあり参加には至らなかった。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	2カ月に1回開催されており、メンバーは自治会役員、地域包括支援センター長、福祉用具関係者、家族で構成されている。運営推進会議では行事報告や地域行事の参加方法、防災、食中毒予防等について話し合い、意見やアドバイスをもらっている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	毎週、市役所に出向き運営上の問題点や介護保険の相談にのってもらっている。市役所の担当者から声かけがあったり、ホームを訪問した時などは職員の相談にものってくれる。時には、市の職員より質問されることもあり、行政との良好な関係がうかがえた。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	家族会はないが、ホーム内の行事には多くの家族が参加し家族同士話をしていいる。職員は面会時に家族が意見や要望を出しやすいように働きかけを行っている。また、直接管理者の携帯電話に連絡が入ることもある。毎月ホーム便りが発行され、入居者の近況報告やホームでの様子、行事の写真等を掲載している。ホーム便りには担当職員の言葉がそえられている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。